

# 《意見具申の概要》地域包括ケアを支える人材の在り方と役割

～領域や世代を超えた支え合いの実現のために～

## 基本的な課題認識

地域包括ケアを実現するためには、サービス提供を担う人材について、フォーマルサービス、インフォーマルサポート共に、いかに確保、育成、定着を図っていくのが鍵

## 意見具申のポイント

### フォーマルサービス

### ★先進的な事例の紹介

### インフォーマルサポート

#### 【人材の確保】

- 小学校から高齢者までの全世代型の確保策実施
- 潜在有資格者や転職者が就労しやすい条件整備
- イメージアップに向け職場環境の正確な情報発信

#### 【人材の育成】

- 専門性の向上と専門性を評価する仕組みづくり
- 定着率向上のためのマネジメント層の意識づけ

#### 【人材の定着】

- 育児休業等から復帰しやすくする職場環境づくり
- ICTやIoTの活用による効率性の向上や負担軽減

#### 【その他】

- 高齢者など多様な人材の活躍可能な場の創出

#### 【ボランティアや地域住民の力を引き出す方策】

- 専門職と地域住民によるフラットな関係での協働
- 民生委員や自治会等の地域の既存資源の活用
- SNS等も活用した各地域における活動の見える化

#### 【フォーマルとインフォーマルを結び付ける人材】

- コーディネート役の人材の重要性と養成の必要性
- 専門職の関与で地域活動の活性化とレベル向上

#### 【その他】

- 社会福祉法人、企業活動、教育部門など、東京で活動する様々な主体の専門性やノウハウの還元
- 地域住民が専門性を修得したり、専門職が地域のコア人材として活躍していく等の人材の循環

## 各主体に期待される行動

**【事業者】** 普段から地域との関わりを持ち、地域の一員として活動することで助け合いや人材確保を実現

**【専門職】** 専門性の向上を図ると同時に、従来の活動範囲を超え、住民の一人として地域での幅広い活躍

**【地域住民】** 地域の課題を「自分ごと」と捉え、他の住民や組織と協働しながら積極的に様々な活動に参加

**【区市町村】** 地域単位で計画を立てた施策展開、地域住民の生活を包括的に支援できる仕組みの構築

**【東京都】** 既存施策を絶えず評価・検証し、民間の知恵も積極的に取り入れ、人材対策施策を立案し実行

大都市東京にふさわしい、領域や世代、対象者の区別を超えた地域包括ケアシステムの実現